

これまでの実証実験

デジタル地域通貨実装に向け市民・事業者が参加する実証実験（地域通貨分科会/2023年3月実施）

地域通貨分科会では、デジタル通貨DCJPYによる地域課題の解決・地域活性化を目指しています。地域通貨分科会が目指す「デジタル地域通貨」は、市民・地域の事業者・自治体・地域金融機関等、地域に根差す当事者がシームレスにつながるにより地域経済の活性化や共助を促す仕組みです。

実証実験では、地元スーパーマーケットでの購買データを健康促進に役立てる事業において、地域通貨「会津コイン」と連携しデジタル通貨DCJPYで資金精算を行いました。また、農業事業者と地域内のレストラン等との間で直接流通を実現するサービス「ジモノミッケ!®」の取引で生じる請求額についても、同様にデジタル通貨DCJPYを用いて資金精算を行いました。

実証実験を通じて、地域住民にデジタル地域通貨のメリットを実感いただくとともに、利用者目線で課題を抽出ができました。引き続きデジタル通貨DCJPYを活用した課題解決の深化を図り、国内の様々な決済サービス間の共通基盤づくり・標準化の議論も深めていきます。

